

令和3年度
(2021年度)

市議会事務局の取り組み実績

<部長の方針・考え方>

- ①本会議、委員会等が円滑に議事運営されるようサポートを行う。
- ②市議会の行政監視機能等が十分に発揮できるよう、適正かつ迅速にサポートを行う。
- ③庁内外の各種研修を積極的に活用するなど、人材育成に取り組むことで、事務局全体の機能強化を図る。

具体的な取り組み：本会議、委員会等の適正な運営

本会議、常任・特別委員会、委員協議会その他の会議の運営が公正・円滑・活発に行われるよう、きめ細かな調整と迅速な準備を進め、議会全体の更なる機能強化に取り組めます。

具体的には、通年議会を導入している本会議の運営をはじめ、所管事務調査等に取り組む常任委員会の活動に対するサポートを的確に行います。また、社会情勢やニーズに応じた効果的な議員研修を実施するため、先進事例や講師の情報などの調査・研究を進めます。

実績	<ol style="list-style-type: none">① 本会議等をはじめとする諸会議の実施。 <開会議会1回、定例会議会4回、緊急議会3回>② 各常任委員会で所管事務調査を実施。 <計9回>③ 議員研修会を実施。 <6回(うち、2回は録画映像配信)>④ オンライン委員会の導入に向けて委員会条例等を一部改正。
説明	<ol style="list-style-type: none">① 開会議会、各定例会議会や緊急議会の本会議をはじめ、予算・決算特別委員会や定例会議会前の委員協議会その他の会議を円滑に開催しました。 なお、閉会議会は開かれず、自然閉会となりました。② 総務常任委員会が「公民連携の推進」(計4回)を、教育子育て常任委員会が「主体的な学びにつなげるICTを活用した学校教育」を、市民福祉常任委員会が「医療的ケア児及びその家族に対する支援」、「高齢者のICT利用促進事業」(計2回)を、建設環境常任委員会が「公園の在り方」、「地球温暖化対策・再生可能エネルギーの取組」(計2回)をテーマにした所管事務調査(委員協議会形式による勉強会等)を行いました。 上記①②ともに、円滑な運営が行われるよう、引き続き事務局としての的確なサポートを行っていきます。③ 新型コロナウイルス感染症に係る緊急事態宣言のため、令和2年度から実施が延期されていた「命を繋ぐ防災セミナー～地震だけでなく、相次ぐ豪雨災害、今私たちが学ぶべきことは～」をテーマとした講演が、4月15日に開催されました。 4月27日には、手話言語条例の制定を機に、障害に関する理解を深める趣旨

	<p>より「手話でつむぐ住みよいまち枚方市手話言語条例と聴覚障害者への対応」をテーマに障害福祉担当職員を講師として、8月24日には、まちづくりの先進的な取組等への見識や理解を深めるため「都心部の拠点づくりの動向」をテーマに市駅周辺等まち活性化部職員を講師として、また、1月26日に「デジタル・シティズンシップ教育」をテーマに学校教育部職員を講師として、現状や今後の方向性など、それぞれ専門的知識の習得を図りました。</p> <p>11月の大阪府市議会議長会主催の議員研修会「国際社会と日本-厳しさをます米中関係と日本の針路について」及び、2月の河北市議会議員合同研修会「ヤングケアラーの現状と必要な支援について」については、コロナ禍のため、録画動画映像配信となりました。</p> <p>コロナ禍において常任委員会視察等が中止となる中、様々な議員研修を開催し、専門的知識の習得を図りました。</p> <p>④ コロナ禍において全国的に議論が高まっていたオンラインによる委員会の実施について、令和3年度に設置された議会改革懇話会の最終報告を踏まえ、令和4年3月定例会議会において、オンライン委員会の導入に係る委員会条例等の一部改正案を議決しました。</p>
--	--

具体的な取り組み：ペーパーレス化の推進

令和2年度にタブレット端末および文書共有会議システムを導入し、一部の会議資料や議員配付文書を電子化するなど、ペーパーレス化の試行運用を行ってきましたが、令和3年度は本会議、常任・特別委員会でもタブレット端末を活用した運営ができるよう、課題整理や関連諸会議との整合性を図り、下半期からの本格実施を目指すなど、ペーパーレス化による効率的な会議運営をさらに進めます。

<p>実績</p>	<p>① 令和2年度に続き、令和3年度においても会議資料等のペーパーレス化を推進し、令和4年3月定例会議会から全面的に本格運用に移行。</p>
<p>説明</p>	<p>① 会議資料等のペーパーレス化推進に伴う議員用タブレット端末及び文書共有会議システムについて、令和3年5月から、総務・教育子育て・市民福祉・建設環境委員協議会における本格運用を行い、また、令和4年2月からは、本会議をはじめ、各派代表者会議、議会運営委員会及び常任・特別委員会においても本格運用に移行しました。</p> <p>令和4年度においては、本格運用の検証に基づく課題整理を図りながら、ペーパーレス化による効率的な会議運営をさらに進めます。</p>

具体的な取り組み：災害発生時の支援活動体制の強化

地震等の災害が発生した際、枚方市災害対策本部と連携し「市議会災害対策連絡会議」や「緊急議会」などにおいて迅速かつ円滑に対応できるよう、枚方市議会業務継続計画（BCP）に基づき、災害訓練の実施や想定議案の調査・研究に努めます。

具体的には、議会開催中に大規模災害が発生した場合など、様々な状況下を想定した議場での災害時行動訓練を実施するとともに、「災害伝言ダイヤル」や「災害用伝言板」を用いた議員の安否確認訓練を定期的実施します。

実 績	<ul style="list-style-type: none"> ① 議場における災害時対応行動訓練を実施。 ② 災害対策連絡会議訓練を実施。 ③ 枚方市議会業務継続計画（BCP）を改定。
説 明	<ul style="list-style-type: none"> ① 令和3年12月22日に、議場における災害時対応行動訓練として、議員及び出席理事者を対象に、本会議中に地震が発生した場合を想定し、議場及び庁舎が停電する中、緊急地震速報メール等の効果音も活用し、本会議を休憩して身を守る行動を実践するほか、避難経路を確保の上で、議場からの避難、誘導までの行動を確認しました。 今後も、枚方市議会業務継続計画（BCP）に基づき、災害時の対応行動が取れるよう十分な習得を図ります。 ① 令和4年1月14日に市議会議員の安否確認を行う災害対策連絡会議訓練を実施しました。また、訓練実施後には市議会災害対策連絡会議を開催し、訓練全般に対する意見交換や議場における災害時対応行動訓練について協議を行いました。 今後も、市議会災害対策連絡会議が円滑に開催されるよう、サポートに努めます。 ② 大規模災害時を想定して、議会、議員及び市議会事務局の役割や行動を具体化した枚方市議会業務継続計画（BCP）を策定し運用していますが、令和4年3月に新型コロナウイルス感染症等、新たな感染症等にも対応できるよう、感染時の行動基準や環境整備等を追記するなど内容の改定を行いました。 今後も、枚方市議会業務継続計画（BCP）に基づき、議会及び議員等が迅速かつ適切に災害対応が行えるよう努めます。

具体的な取り組み：市民にわかりやすい情報発信

議会活動に関する情報発信については、現在実施している一般質問・代表質問及び議案審議のインターネットによる生中継を継続し、引き続き市民ニーズを踏まえたわかりやすい情報発信に努めるとともに、令和3年3月の手話言語条例の制定を機に、本市の手話通訳等に関する取り組みにも注視しながら、必要な対応についての検討を進めます。

具体的には、次の情報発信方法を継続して行うとともに、より効果的な情報発信ツールの調査・研究を進めます。

- 枚方市議会報、点字議会報及び声の議会報の発行
- 一般質問・代表質問及び議案審議の生中継と、録画映像の配信
- 会議録の発行及びインターネット上における会議録検索システムの運用
- ホームページやツイッターによる情報発信（会議日程、審議結果等）など

実績	<ul style="list-style-type: none"> ① 本会議の生中継・録画映像を配信。 ② 市議会報を年6回発行し、新企画コーナーを実施するとともに、年間を通じてリアルタイムな議会情報を市ホームページ等で発信。
説明	<ul style="list-style-type: none"> ① 本会議の開催日に合わせ、インターネット上で会議の生中継を配信するとともに、概ね2週間後に録画映像を配信しました。 ② 定例会議の開催に応じ議案質疑や一般質問の内容等を掲載した市議会報を発行（5月、7月、8月、11月、1月、2月）するとともに、同内容の点字・声の議会報も発行しました。2月号において、新企画プレゼントクイズコーナーを掲載した際、市民から多数の感想や意見が寄せられたことから、これら意見を基に、紙面改革を実施していくことを議会報編集委員会で確認しました。そのほか、議会報編集委員によるメッセージ動画を撮影し、QRコードからアクセスするとその動画を閲覧できるようにしたものをクオカードとともに当選者に送付しました。ホームページにおいても同様のものを掲載しました。また、年間を通じて、各会議の開催日程などの議会情報を市ホームページや広報ひらかた等で情報発信を行いました。 <p style="text-align: center;">上記①②ともに、引き続き市民ニーズを踏まえた情報発信に努めます。</p>

具体的な取り組み：政務活動費の情報公開

令和2年度より、政務活動費の収支報告書のほか、付随する領収書や視察・研修等の活動報告書等の資料についてもすべてホームページに掲載し、使途の透明性の確保に努めており、令和3年度は、政務活動費の適正な執行と、さらなる使途の透明性の向上を図るため、本市議会作成の「政務活動費マニュアル」を活用し、最新の判例情報などとともに議員に提供するなど、見やすくわかりやすい政務活動費の情報公開事務に取り組みます。

実績	<ul style="list-style-type: none"> ① 議員に対して政務活動費に係る情報を提供。 ② 政務活動費の交付を受けた議員の収支報告書等を市ホームページで公開。
説明	<ul style="list-style-type: none"> ① 「政務活動費マニュアル」を活用し、議員に対して支出の適否に係る判断材料や最新の判例を提供するとともに詳細な説明を行い、政務活動費の適正な執行に取り組みました。 ② 市ホームページに領収書、各種活動（視察・研修等）報告書等、収支報告に係る資料を掲載して政務活動費の収支状況を公開し、使途の透明性を図りました。